

αFUSION

FusionServer

X6000 V7 高密度サーバー

優れた放熱能力、優れた電力供給、優れたコンピューティング密度



xFusion技術日本株式会社

高密度サーバー

FusionServer X6000 V7

目 概要



X6000 V7(8ハードディスク)



X6000 V7(24ハードディスク)

FusionServer X6000 V7は、ISPや科学技術計算などの運用シナリオ向けにアーキテクチャを最適化して開発した、大規模な展開に最適な次世代の2U高密度サーバーです。インターネット、科学技術計算、クラウドコンピューティング、データセンターなどの運用シナリオに適しており、ソフトウェア・デファインド・ストレージ(SDS)、ビッグデータとソフトウェア・デファインド・インフラストラクチャ(SDI)アーキテクチャにおける運用に最適です。

目 ハイライト



優れた放熱能力、優れたコンピューティング密度

- 2Uスペースに空冷ヒートシンクと8基の最大350W TDPの第4世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサを搭載(業界唯一)
- キャビネット内に最大10台の空冷サーバーを搭載可能(電力供給再構築後)



優れた電力供給、高信頼性

- 2Uスペースで4台の3000W電源に対応(業界唯一)
- 2Uスペースで2+2冗長電源に対応(業界唯一)
- 単一電源構成に対応し、共有電源バックプレーン設計を採用
- 80PLUS Titanium認証の電源を採用し、最大96.5%の変換効率を提供



次世代アーキテクチャ、より優れた性能と帯域幅

- 次世代の高密度サーバーアーキテクチャを採用することで、最大59%のシステム性能向上を実現
- 4×UPI 2.0リンク対応により、30%のクロスステップアクセス性能向上を実現
- DDR5 DIMMに対応し、最大16TBのメモリー容量をサポート
- すべてのスロットがPCIe 5.0に対応することにより、1倍のネットワーク帯域幅増加を実現

目 技術仕様

| | |
|-------------|--|
| 形態 | 2U4ノードシャーシ |
| サーバーノード | 4台の1Uハーフワイド2ソケットサーバーノード |
| 電源モジュール | 4台の1500W、2000Wまたは3000W Titanium/Platinum ACまたはDC PSU、1+1、3+1または2+2冗長対応、ホットスワップ対応(サーバー全体の消費電力と単一電源の電力に基づいて構成) |
| 電力供給 | 100~240V AC、240V DC |
| ファンモジュール | 4台の自社開発の高性能ファンモジュール、N+1冗長とホットスワップ対応 |
| 動作温度 | 5° C~45° C、ASHRAE Class A1/A2/A3/A4に準拠(動作温度はサーバー構成によって異なる) |
| 認証 | CE、UL、FCC、CQC、VCCI、RoHS |
| PCIe拡張 | ノードあたり最大4つのPCIeスロット(1つの内蔵RAIDコントローラカードスロット、1つのOCP 3.0 NIC専用のFlexIOスロット、2つの標準PCIeスロット) |
| 寸法(幅×奥行×高さ) | 447mm×899mm×86.1mm |

高密度サーバーノード FusionServer XH321 V7

目 概要



FusionServer XH321 V7

FusionServer XH321 V7(以下「XH321 V7」という)は、xFusionがエネルギーの制約を打ち破り、システムのコンピューティングパワー密度を高めるために革新的に設計した、次世代の1Uハーフワイド2ソケットサーバーノードです。XH321 V7は、強力な熱放散、極めて高いコンピューティングパワー密度、高信頼性の電源システム、より優れた性能と帯域幅などの特長を備え、データセンター、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、インターネットなどの運用シナリオに適します。

目 ハイライト



高密度コンピューティング、優れた性能

- 最大2基の第4世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサを搭載でき、最大350W TDPに対応
- 最大16枚の4800MT/s DDR5 DIMMを搭載でき、最大4TBのメモリー容量に対応
- フルNVMe SSD構成による高速化と2+4のロードバランス構成により、I/Oボトルネック排除を実現
- 2台のM.2 SSDに対応し、高速で信頼性の高いOS起動ディスクを提供



高信頼性

- 3000Wのホットスワップ対応の高信頼性電源に対応(業界唯一)
- RAIDキャッシュを提供し、スーパーキャパシタによる電源障害時のデータ保護に対応

目 技術仕様

| | |
|-------------|--|
| 形態 | 1Uハーフワイド2ソケットサーバーノード |
| プロセッサ | 2基の第4世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサ、最大TDP 350W対応 |
| メモリー | 16枚の最大4800MT/sのDDR5 DIMM、最大4TBのメモリー容量(256GB DDR5 DIMM搭載時)まで搭載可能 |
| ローカルストレージ | 最大6台の2.5インチSAS/SATA/SSD/NVMeハードディスクを搭載可能で、2+4ロードバランスのNVMe構成、異なるタイプのハードディスクの混合構成に対応 |
| RAIDサポート | RAID0、1、10、5、50、6に対応し、スーパーキャパシタによるキャッシュデータの電源障害保護、RAIDレベルの移行、ディスクローミング、自己診断、Webによるリモート設定などの機能を提供 |
| PCIe拡張 | 最大2つのPCIe 5.0 x16ハーフハイトハーフレングスの標準拡張スロット |
| OCP拡張 | 1つのPCIe 5.0対応のOCP 3.0拡張スロット |
| 管理 | iBMCチップは、1つの管理用GEネットワークポートを統合しており、故障診断、自動O&M、ハードウェアセキュリティ強化などの包括的な管理機能を提供 <ul style="list-style-type: none">• iBMCは、Redfish、SNMP、IPMI 2.0などの標準インターフェースに対応し、HTML5/VNC KVMに基づいたリモート管理ユーザーインターフェースを提供し、監視、診断、設定、エージェントレス、リモートコントロールなどの、管理の複雑さを簡素化する帯域外管理機能をサポート• オプションのFusionDirector管理ソフトウェアは、5つのインテリジェントテクノロジーなどの高度な管理機能を提供することで、ライフサイクル全体にわたるインテリジェント化・自動化・視覚化・洗練された管理を実現 |
| OS | xFusion FusionOS、Microsoft Windows Server、SUSE Linux Enterprise Server、VMware ESXi、Red Hat Enterprise Linux、CentOS、Oracle、Ubuntu、Debian、openEuler |
| 動作温度 | 5° C~45° C(ASHRAE Class A1/A2/A3/A4に準拠) |
| 寸法(幅×奥行×高さ) | 218.7mm×632mm×40.7mm |

xFusion技術日本株式会社

代表電話番号: 03-6206-7368

住所: 〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル 17階

Webサイト: <https://www.xfusion.com/jp/>

Copyrights © xFusion Digital Technologies Co., Ltd 2023. All rights reserved.

書面によるxFusion Digital Technologies Co., Ltd.の事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても複製または転載することを禁じます。

商標および許諾

 およびその他のxFusionの商標は、xFusion Digital Technologies Co., Ltd.の登録商標です。このドキュメントに記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

注意

本書において、簡潔な説明と容易な理解のために「xFusion」は「xFusion Digital Technologies Co., Ltd.」を指すものとして使用されていますが、「xFusion」が他の意味を持つことを意味するものではありません。本書で記載または記載されている「xFusion」は、「xFusion Digital Technologies Co. Ltd.」以外の意味として理解されてはならず、「xFusion」の使用から生じるいかなる責任も負わないものとします。

ご購入の製品、サービスおよび機能はxFusion Digital Technologies Co., Ltd.とお客様の間の契約によって規定されます。本文書に記載されている製品、サービスおよび機能の全体または一部は、購入範囲もしくは使用範囲に含まれない場合があります。契約で別途許諾している場合を除き、本文書内の記述、情報、推奨事項はすべて「無保証 (ASIS)」で提供されており、明示的または暗黙的ないかなる保証も約束も行いません。

本文書の記載内容は、予告なく変更されることがあります。この文書の作成にあたっては、内容の正確性には最大限の注意を払っておりますが、この文書内のいかなる説明、情報、推奨事項も、明示的または暗黙的に何らかの保証を行うものではありません。